

補給情報収集システム

液体タンクへの効率配送には、先ず補給時期を確認することが必要です。そのために、残量センサを液体タンクに設置して、タンク内の液面が設定位置になった時に信号を取るようになります。フジコントロールズ(株)は液体タンクの残量センサ(ステンレベラ)をステンレス薄膜で30年以上前から生産・販売している専門メーカーです。

補給情報の収集には様々な方法がありますが、LPG集中監視で実績のあるNTTテレコンのインテリアNCUは設置がしやすく、残量通報位置の設定が容易な残量センサ(ステンレベラ)と組み合わせて補給情報を収集すれば、配送計画の効率化が図れます。

残量センサをドレン口に設置した場合、圧送ポンプのサクションパイプをタンクへ挿入するときは先端をドレン口から離してください。(残量センサがポンプ作動の都度ONになります。連続発報。)



残量センサ



PB207B型

補給情報の流れ



客先配送センター

説明

液体タンクの液面が設定位置まで下がったときに残量センサ(ステンレベラ)がONになります。

子機は残量センサと直結されているので、残量センサのONで親機に無線で信号を送ります。

親機は子機の信号を受けるとNTT電話回線を通してNTTテレコンに信号を送ります。

NTTテレコンは受けた信号を客先配送センターにその都度通報します。

補給情報は携帯電話のIモードでもメール受信出来ます。

特長

子機は防水構造で、外置きタンクに付けられます。

親機・子機間がワイヤレスで設置工事が容易。

親機には子機2台とワイヤレス接続。(タンク2基)

双方向通信で子機の状態が確認できるので安心。

残量センサは灯油・潤滑油・食用油などで、30年の実績。

このシステムを利用するためには、NTTテレコンとの利用契約が必要です。

フジコントロールズ株式会社

〒156-0055

東京都世田谷区船橋1-41-9

TEL 03-3484-2501 FAX 03-3484-2598

E mail: on01-fcc@kt.rim.or.jp

http://www.kt.rim.or.jp/~on01-fcc